

## は　じ　め　に

近年、環境汚染や食品汚染など、大きな社会問題となる事例が少くなく、衛生研究所における検査、調査研究業務の重要性は、一段と増加すると共に、一般市民の関心もより高いものとなってきております。

本年も食品容器中の塩ビモノマーや6価クロムによる環境汚染問題等が大きく取り上げられたことは、記憶に新しいところであります。

又、不況が深刻化するに伴い、その影響は地方自治体にまで波及し、財政危機が叫ばれ、衛生研究所業務体制の強化にともなう予算の確保には、一段ときびしいものを感じる昨今であります。

しかし、こうした中であって、昭和50年度の集大成とも言える札幌市衛生研究所年報第3号を発刊することが出来ましたことは、関係各位のご援助と職員一同の努力の結果によるものであり市民サービスに対する行政への一助となるものと信じます。その内容は未熟な点が多々あると存じますが、各位のご高覧に供しご熱心なるご批判をいただければ幸いと存じます。

昭和51年4月1日

札幌市衛生研究所

所長　秋　葉　亨